

## 2つの研究論文が優秀論文に選ばれました

### ～令和4年度 全国砂防関係工事安全施工管理技術研究発表会～

～紀伊山系砂防事務所～



6月3日、東京都千代田区の九段第3合同庁舎にて、全国砂防関係工事安全施工管理技術研究発表会実行委員会が主催する研究発表会が対面形式で開催されました。

全国180本の中から優秀論文に選ばれた8本のうち、紀伊山系砂防事務所から、2本の研究論文が優秀論文に選ばれました。

#### <開催日時>

令和4年6月3日（金）14:00～17:00

#### <開催場所>

九段第3合同庁舎 11階共用会議室  
(東京都千代田区九段南一丁目2番1号)

#### <主催>

全国砂防関係工事安全施工管理技術研究発表会実行委員会

#### <発表者（施工箇所）>（8名中2名）

- ・鹿島建設株式会社 監理技術者 松本 健太郎（赤谷地区）
- ・松塚建設株式会社 現場代理人 今西 裕昭（冷水地区）



山本事務所長（中央）との記念撮影  
(左側：鹿島建設 松本氏、右側：松塚建設 今西氏)

#### （優秀論文）

#### 赤谷3号砂防堰堤工事における無人化施工の活用実績について

鹿島建設（株）  
監理技術者  
松本 健太郎 氏



#### ○評価のポイント

無人化・自動化施工というニーズは、現時点では限定なものだと思います。しかしながら、将来の工事現場においては、特に災害リスクの高いエリアにおける安全対策や効率化の観点から今後、急速にニーズが高まるものと考えられます。

本論文では、無人化・自動化技術など様々な技術を活用し、これまで人が立ち入らざるを得なかった作業を解消できたことが示されています。今後の砂防関係工事において大きな変革を起こすであろうと考えております。

#### （優秀論文）

#### 冷水斜面对策他工事における安全対策について

松塚建設（株）  
現場代理人  
今西 裕昭 氏



#### ○評価のポイント

危険を伴う急峻かつ長大な斜面での工事において、無人化施工による安全対策に取り組んでいます。また、MR（複合現実）技術を活用した削孔機据付などの取組や作業従事者の身体負担を軽減させるパワーアシストスーツの活用、法面昇降時のアシスト装置の利用を試みています。作業従事者の疲労を軽減させて転落・滑落といった事故の発生リスクを減らす取り組みであり、これは、斜面对策のみならず全国の他の砂防関係工事においても参考になる有益な取組であると思います。

【問い合わせ先】 国土交通省 近畿地方整備局 紀伊山系砂防事務所 工務課

〒637-0002 奈良県五條市三在町1681 TEL 0747-25-3111（代）

